



# とまり



## 第11回 泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会 (平成22年2月27日・28日)

2010  
平成22年

4月

No. 584

..... 今月の主な内容 .....

- ◆ 平成22年度泊村政執行方針
- ◆ 平成22年度教育行政執行方針
- ◆ 平成22年度予算
- ◆ 日本海ニコニコ元気村トピックス
- ◆ 暮らしの告知板
- ◆ とまり木文芸

# 第一回泊村議会定例会開会

三月八日

## 平成二十二年

# 泊村政執行方針



牧野村長

二年を過ごすことができ心から感謝申し上げる次第であります。

この二年間の村政の運営にあたり、「住民皆様が心身ともに豊かで希望に満ちた活力あるふるさとづくり」をキャッチフレーズに村の振興発展の施策を推進してまいりました。今年も地域が輝く地域主権の村づくりに努力を傾注してまいります。

平成二十二年第一回泊村議会定例会の開会にあたり、村政執行と各会計予算(案)を提案するにあたり、私の所信と方針について申し上げ村議会議員の皆様をはじめ住民皆様の一層のご理解とご協力をいただきたいと思います。

私は、平成二十年一月の村長選挙以来、村政の運営に多くの方々力強いご支援とご協力、そして温かいご厚情を頂き、早いもので

済社会も、ますます厳しさを増し、

少子高齢化社会の福祉施策、地域情報通信の高度化、衛生・環境・教育の充実、地元産業の振興等、多くの問題を抱え、その変革の環境の中で、住民生活に密着した行政運営が重要視されております。

特に本村におきましては、「泊村第三次総合計画」の最後の年になっており、多くの懸案事業が山積している中で、学校給食共同調理所及び公営住宅の建替え、孟地域の公営住宅建設の実施設計等の予算を議会に提案申し上げておりますが、時代の変化に即応した事業の展開を図り、住民の意見や要望を最大限に取り入れながら、その実現に向けて推進してまいります。

国や道の財政事情は厳しさを増しております今日、本村におきましては、「自己自立を強いられてい



る」現況の中で、原子力発電所三号機の増設に伴い、幸いにも電源立地地域対策交付金と固定資産税の増収により健全財政を堅持できる状況にあり、予算編成におきましても前年度より予算規模は増額となります。基本的には、歳出の経常経費を抑え、住民福祉サービスの向上と公共事業及び非公共事業を見極めて、政策の重点的選択を念頭におき実施してまいります。

私は、常に「誰よりも」、「どこよりも」サービスの向上を目指した快適な暮らしができる環境づくりを基本に「安全で安心した、いつまでも住んでいたい村づくり」を目指し、そのためには、人材育成が重要施策としております。

特に、近年の社会経済の急激な変動により、新たな変革が必要とされますので、「行政改革」を図り、

職員の力量を的確に把握し、意識改革を高めてまいります。この行政改革と共に、創意と工夫の中で関係諸団体や住民皆様との懇談を重視して、ご意見やアイデアをいた、た、き、議会・住民・村との三位一体の中で一層の「村の飛躍」を積極的に図ってまいります。

以上、平成二十二年度の村政を執行するにあたって、私の所信を述べさせて頂きました。

次に私が特に重視している政策について申し上げます。

## 第一 総合計画の具現化と新長期総合計画の策定

平成十三年に策定された泊村総合計画は、今年で最終年の十年目を迎え、後期事業に着手しているところでありますが、策定時に示されている「基本構想」「基本計画」に基づき、社会情勢や住民のニーズに対応しつつ、優先事業の選択や規模の見直し等を行い、地域情報化や学校給食共同調理所改築工事等、各分野に亘って、着実に事業の具現化を進めてきております。

今、国内経済が混迷する中、特に本村の基幹産業である漁業を取



第四次泊村総合計画策定

り巻く情勢はますます厳しさを増し、社会情勢も政権交代に伴い、国・道などの行財政改革による構造改革、急速に進む少子高齢化への対応や情報化・国際化の進展、更に、人々の生活意識の変化の進展から、地域を取り巻く課題も山積しているところであります。

今後は、村の財政事情を見極めながら、第三次総合計画で未実施の事業について、十分な精査を加え、本年度策定すべく、平成二十三年度から始まる向こう十ヶ年の第四次泊村総合計画策定に向けて、地域社会の変化や住民ニーズの多様化、そして、少子・高齢化社会

に対応した福祉の充実、若者が定着できる生活環境づくり、豊かな自然と調和する観光の拠点づくり等、将来に向け住民皆様からのご意見やご提案をいただきながら、総合的かつ長期的視点に立った新たな村づくりの指針を策定し、優先事業の選択や事業規模の見直しを図り、住民一人一人が住むことに誇りを持つ、泊村を目指して行政の総力を結集して、魅力と活力ある村づくりに一層の努力をします。

## 第二 地域情報化の推進

情報化社会に対応すべく、全村に亘って下水道事業と共に構築しました地域情報化のシステムは運用を開始して以来、緊急連絡網や福祉・医療・産業・教育の情報等、多くの住民皆様に活用して頂いているところであります。

今日、国際的に情報が氾濫し、またネット犯罪等の防止のためにも、正しい情報の共有が求められることから、村としても、住民が情報に惑わされることなく正しいパソコンを活用して頂くために定期的な講習会等、年間を通じて今

年度も実施してまいります。さらには、住民のニーズに対応し、多くの情報を組み入れながら、内容の充実を図り多くの情報を住民の方々に提供できるよう努めてまいります。

## 第三 社会福祉・医療と保健衛生

保健・医療・社会福祉の分野におきましては、昨年来から流行となりました新型インフルエンザへの対策や管内医療機関における精神科医等の医師不足問題による地域医療体制崩壊の危機に対する対応と介護サービスにおける運営等の問題など多岐に亘る諸問題が山



泊村総合福祉センター

積しております。それらの問題に  
対しては、国策に沿った対策を求  
められていることもあり、それぞ  
れの対応に時間を要している状況  
にあります。住民が安心して生

活していただける社会保障制度の安定  
的な確立が急務であります。泊村  
では、限られた財源の中、各種助  
成制度を見直しながら、住民の皆  
さんが公平で安心して暮らしてい  
ける社会保障制度を確立するため、  
社会情勢等を勘案し、泊村に合っ  
た助成制度を再構築すると共に、  
社会福祉協議会などの関係機関と  
連携をより一層、密にしながら社  
会福祉事業を推進すると共に様々  
な環境整備を図ってまいります。

また、泊村では、廃棄物の適正  
処理が課題となっており、資源ご  
みの収集増や事業系廃棄物の各事  
業所での処理など周知及び指導を  
行いながら住民皆様にご理解、ご協  
力をいただき、泊村の衛生的な地域  
環境の保持を推進してまいります。

## 第四 定住の促進

近年の社会情勢は、少子高齢化、  
IT化、グローバル化などにより、  
大きく変化しており加えて非常に

厳しい経済情勢のもと、それぞれ  
の市町村においては、自主自立を  
確保しつつ個性豊かで活力に満ちた  
まちづくりが求められております。

泊村においても、地域の特色を  
活かしながら、住民はもとより、  
誰もが住みたくなる村づくりを目  
指して、下水道をはじめ簡易水道  
や道路など生活基盤の整備や公営  
住宅、公園整備などの住環境の形  
成に努めるとともに情報化社会に  
対応した情報通信網の整備も推進  
してまいります。さらには、「ふる

さと定住促進条例」に基づく各種  
奨励事業であります。保健・医療・  
福祉・教育等の各分野においては、  
村独自の手厚い住民サービスを図っ  
てきたところであり、成果も着実に  
現れて来ているところであります。

今後におきましても、財政健全  
化の中で村独自の住民サービスを  
施策として進め、見直し等を検討  
し住民福祉と環境整備など、様々  
な施策に取り組んでまいります。

## 第五 産業の振興

### 1 水産業

水産業を取り巻く情勢は、漁業



カブト分区

従事者の高齢化と共に、後継者不  
足、更には、水揚高の低迷等により、  
漁業経営は大変厳しい状況にあり  
ます。

このような中、昨年四月に古宇  
三単協が合併し、「古宇郡漁業協同  
組合」が誕生致しました。合併に  
伴い事務事業等の変革が求められ  
る中で、新たな取り組みの効率的  
な業務体制と健全な漁家・漁協経  
営が構築されることを期待してお  
ります。また、一昨年に供用開始  
となりましたカブト分区の漁業用  
施設整備等、長期的・広域的な視  
点に立ち、第四次総合計画の中で、  
施設整備及び活性化事業を積極的

に支援してまいります。

周辺海域での水産資源が総じて  
悪化している中、「獲る漁業から育  
てる漁業」の中核を担っている栽  
培漁業センターは、安定した業績  
の実績から今後の発展を大いに期  
待しております。同センターの栽  
培技術の向上をご期待申し上げ運  
営面の施設整備を積極的に支援し  
てまいります。

### 2 商工業

日本の経済は消費低迷、デフレ進  
行と未だに厳しい状況にあります。

泊村の商工業においては、地元  
消費者の嗜好の多様化と、近隣大  
型店への流出から、地元において  
も経済の低迷が続いております。

このような不況下にありますので、  
村内の更なる消費拡大等を促進す  
るために、今年度も年二回のプレ  
ミアム商品券発行事業を支援し商  
工業の活性化を図ってまいります。  
昨年十二月に泊原子力発電所三  
号機が運転開始に伴い、雇用の確  
保、経済的波及効果を含め、地元  
産業の発展をこれまで以上に期待  
するものであります。

泊村商工会におかれましては、  
道補助金の見直しで厳しい運営状

況にありますが、会員の知恵と力を結集して各種事業を積極的に推進し、経営基盤の確立をご期待しています。特に今年度は、商工業の活性化事業の推進を期待し、人件費の経費を助成してまいります。

### 3 観光業

泊村は、盃温泉郷をはじめとする海と山の自然景観が魅力であり、大きな財産であります。また、体験型の各施設も整備され、これらの豊かな自然と各施設の特色を活かした情報を発信しているところ

です。近年、経済の不況から観光客の



群来まつり



とまりマラソン

入込数の減少により日帰り、通過型観光となり村内観光業界は大変厳しい状況におかれております。

このような中で、本村の懸案であります堀株地区は、土地の取得が進み、自然を活かした環境づくりが可能となり観光客増大の切り札として観光の新拠点づくり開発を目指しまた茂岩地区の見直しも進めてまいります。

泊村の二大イベントであります「群来まつり」や「とまりマラソン」は各実行委員会や村民皆様のお力を拝借しながら、より一層の充実したイベント事業として推進してまいります。

### 4 建設業

昨年の政権交代により公共事業の大幅な見直しが行なわれ、「コンクリートから人へ」とおり、建設業界にとつて大きな影響を与えるものと考えられ、こと北海道における景気は、非常に厳しく先が見えない状況にあります。このような厳しい社会情勢ではありますが、村としましては、一部事業を除き地元企業の繁栄を願い、可能な限り建設工事に参加されるよう配慮してまいりました。

今年度予算化した主な工事として、照岸山の上通線、泊村



公営住宅建て替え

通線の改修工事、盃学校通線排水側溝改修工事等を計上、住宅政策では、昨年度の公営住宅寿命化策定計画を基に計画的な公営住宅の改修並びに建て替えを実施してまいります。今年度は、照岸地区に公営住宅一棟十二戸の建設を行います。また、茅沼地区公営住宅屋根塗装工事、白別公営住宅屋根改修工事等の工事費を計上致しました。今後とも、地元企業への発注による公営住宅の改修・修繕等、経済的波及効果に配慮してまいります。各業者は厳しい経営を余儀なくされている状況にありますが、自らの力によって苦境を打開することに殊更期待を寄せるものであります。村としましては村内企業支援育成を基本に経営基盤強化をご期待申し上げ、出来る限り、諸条件を緩めた中で公共事業の受注拡大を目指してまいります。

### 第六 企業誘致の推進

雇用の創出は、地域の活性化と泊村の未来を創る人材の確保に欠かせないものであります。泊村では企業振興促進条例を制定し、雇用の増加と企業立地を促すため固

## 第七 教育と文化

二十一世紀を切り拓く、心豊か

定資産税等の減免や助成の規定を設け、発電所関係の企業誘致に一定の成果を見たところであります。が、今後も泊発電所の関連企業の誘致促進を図る一方、平成二十二年一月に「岩内・共和・泊・神恵内地域産業活性化協議会」を設立し、国の支援制度を活用した企業誘致の促進を図り、地元産業界と連携し、若年層の人たちが地元で定住できるような雇用の場を開拓してまいります。



企業誘致の推進

でたくましい人づくりを目指して、いじめ等で混乱している教育環境の中にあつて、国においては、教育改革が進められているところでもあります。子ども達の豊かな人間性や社会性を養い、「自ら学び」、「自ら考え」、適切な問題を解決する能力など教育を通じて養わせ、一人ひとりのニーズに応じた、地域に根ざした教育行政の推進が必要であります。そのためにも教育環境の整備、施設の充実が重要であります。今年度は、学校給食の更なる充実を図るため、泊中学校周辺の環境整備の一環であります学校給食共同調理所の建設に取りかかり完成を目指します。

また、教育委員会と連携を密にして、学校施設を積極的に開放するなど、学校教育と社会教育が一体となった相互交流を図る教育活動が求められておりますので、スポーツ・文化の振興等を推進して、さらなる体力増進のために優れた立地条件にある「とまりカブトラインパーク」や「アイスセンターとまりリンク」の有効活用を今年度も一層進めてまいります。

往時を偲ぶ勇壮な「鯨御殿とまり」も国の漁業漁村歴史文化財産



鯨御殿とまり



アイスセンターとまりリンク

## 第八 消防団と救難所

百選に選ばれ、泊村の風土や郷土、歴史の貴重な文化遺産として、各方面から、注目されるようになってまいりました。今年度は、開館十年を記念し、特別展として「写真で見る昔の泊村」を開催し、さらなる施設の充実を図ってまいります。

我が国は世界でも自然災害の多い国であり、毎年のように、自然災害の被害により、大切な人命や財産が失われております。幸いに



とまりカブトラインパーク

して本村におきましては、然したる大きな災害もなく、比較的平穏な年でありました。

最近の傾向として、夏の短時間強雨の発生回数の増加、局地的な集中豪雨による浸水被害や土砂災害、中小河川の急な増水による被害が目立っております。

そのような中であつて、消防団は、住民の生命・財産を守ると云う使命に徹せられ、地域に密着した組織として災害発生時には、自らの生業を顧みず、時には、一命を賭して住民の救助・救出に立ち向かう貴重な地域の防災の力であり、深く敬意を表するところであります。

今後におきましても、一層訓練に励まれて、住民の負託に応えていただくよう期待するものであります。

更に、婦人防火クラブにおきましては、防火に対する予防消防を重点に、啓蒙・啓発活動に努められ、消防団と連携を密にして無火災実現のために尽力されるよう期待を致します。

村としても、消防団の一層の充実強化に取組むと共に、二〇〇四年六月の消防法の改正により義務

づけられました、住宅用火災警報器を昨年度、村内の公営住宅・村有住宅・教員住宅の全戸に設置し終え、一般住宅への助成制度と相まって、地域住民が「安全で安心して暮らせる」村づくりが、より一層図られたものと確信しております。

また、漁業と観光を基幹産業とする本村におきましては、海難事故に対する救難所員の使命も重要であります。

漁船の海難事故の発生や遊漁船による水難事故が増加しており、ひとたび事故が発生した場合は、救難所員が一命を賭して救助活動にあたり、同様の危険にさらされることにもなり、その勇気とご苦労に敬意をしているところであります。

今後においても、所員一丸となり一層、訓練に励まれて、徹底した安全操業のもと、万が一の海難事故に備えて頂くと共に、村としても助成措置を推進し、救難所と連携を密にして海難防止に努めてまいります。

## 第九 原子力発電所

全国的に原子力発電所に関わるトラブルの発生があり、地域住民から事業者に対しての不安が残る現状であります。特に北海道電力(株)におきましても、昨年は四月から八月にかけて試運転中の三号機で非常用ディーゼル発電機の故障や定期検査中の二号機における原子炉格納容器内の配管内に残つて

いた緊急時に使う冷却水を抜き取る作業中、手順を間違つて弁から約三百リットルが漏れ、作業員が水をかぶる等の事故もありました。幸いにも大事に至りませんでした。が、住民の安全が第一であり、安全管理・管理の指導・情報公開・防災体制を強く要請してまいります。

泊発電所一号機の第十六回目の定期検査を一月から四月にかけて行い、また、二号機では第十五回目・三号機では第一回目の定期検査がそれぞれ行われる予定で、それに伴うところの雇用の確保や旅館・民宿、物資の調達など村内への経済的波及効果も期待するところであります。

泊発電所三号機につきましては、

平成二十一年十二月二十二日に営業運転を開始致し、一号機から三号機まで道内の電力の四割を賄うことになり、エネルギー供給基地となりました。地球温暖化に伴い、泊発電所は二酸化炭素を出さないクリーンエネルギーとして世界でも注目を浴びておりますが、安全管理に万全を期さなければならぬ特別な施設であります。

今後においても、事業者である北海道電力(株)に対しては、きめ細やかな情報の積極的な公開を引き続き申し入れるとともに、国及び北海道に対し、安全対策や地域振興と共に立地地域が抱える諸課題についても要望してまいります。



北海道電力(株)泊発電所

## 平成22年度 予算編成方針

我が国の経済は、世界的な経済情勢の急激な悪化を受け、景気は幾分持ち直したというものの、雇用情勢は依然として厳しく、先行き不透明で地域経済に明るさが戻るには、まだまだ時間がかかる状況にあり、国債発行の増など、もとより厳しい財源不足の中で、本格的な地方分権改革の進展、少子高齢化社会の到来、さらには多様化・高度化する住民ニーズに応えていくために、行政基盤の強化と住民自治の充実が求められるなど、地方自治を取り巻く環境は、非常に厳しい状況であります。

このようなことから本村においても、健全財政計画のもとに、財政事情を見極めた中で、十分な精査を加え、実現させることを最優先に予算を編成致しました。

歳入においては、税収入や電源立地に伴う国の制度上の交付金の有効な活用をはじめ、国庫支出金や道支出金、その他、収入の見込み得る財源を全て計上いたしました。

歳出においては、健全財政堅持の建前から、人件費をはじめ、経常経費等を極力節減しながら、独自の施策事業を後退させることなく、重要懸案事業や前年度からの継続事業等を計上し、住民に「公平で公正な」そして、「効率的な行政の運営と健全財政運営」のもとに予算措置を致しました。特に、住民の長寿と健康に関わる福祉・保健・医療につきましても、手厚いサービスを図り、投資的事業においては、緊急度と事業効果を考慮した予算編成を致しました。

## 平成22年度 予算概要

一般会計予算の規模は、四十八億四千八百万円で、前年度対比五十五・八パーセントの増となりました。

歳入においては、大規模償却資産税が二十二億五千二百百万円で、前年度対比十五億一千万円の増、国庫支出金では、電源立地対策交付金が主で十一億四百万円で、前年度対比四億六千六百万円の増であります。

歳出においては、投資的経費が七億三千万円で前年度対比五億五千五百万円の増となり総予算の十五・〇パーセントを占める事業量となりました。

主な事業は、懸案でありました、学校給食共同調理所改築事業とそれに伴う厨房備品購入事業、また公営住宅の効率的且つ計画的な更新や整備を進め、質の高い住宅環境の確保に努めるべく、氐地区公営住宅設計業務、照岸地区公営住宅建設事業、老朽化著しい特別養護老人ホームの改築設計業務、老人ホーム入荘者通院等福祉車両購入事業、地域医療の充実を図る医療機器購入事業、第四次泊村総合計画策定に伴う委託業務などの予算を計上致しました。

また、歳出総体としては、村づくりの総合計画の具現化、地域情報化、定住の促進、産業の振興、社会福祉・医療と保健衛生、更には教育と文化事業等、継続的性質の物件費や委託料等の予算を計上し、安全で安心、そして快適な生活環境のもとに住民ニーズに対応した村づくりを主眼としての予算編成となりました。

以下、平成二十二年度の重要施策を次のとおり申し述べます。

# 平成22年度 重要施策

## 1. 原子力立地給付金加算措置事業

国の電源立地地域対策交付金制度に基づき、原子力発電施設等の立地地域の振興及び地元福祉向上を図る目的で毎年各家庭等に交付されております。「原子力立地給付金」が平成19年交付単価が減額変更になったことから、村事業として減額分を給付する「原子力立地給付金加算措置事業」を実施してきたところでありますが、平成22年度においても、継続して実施することに致しました。

**事業費** 原子力立地給付金加算措置事業補助金 26,718千円

## 2. 地域情報化機器更新事業

情報化社会に対応するため、平成15年度から光ファイバー網を活用した行政・福祉・医療・産業・教育・防災等のシステムを構築し、情報の共有と住民サービスの向上を図ってまいりましたが、機器の耐用年数が過ぎ、このままでは各種サービスに支障を来すことから、更新工事を実施し、なお一層の住民サービスの向上に努めてまいります。

**事業費** とまりネット運用機器更新工事 13,500千円

## 3. 保健衛生事業

住民が安心して暮らせる環境づくりの一環として、健康増進事業をすすめております。特に各種検診においては、予防接種料金の助成などは継続して行ってまいります。今年度は全道的にも先駆けとなる事業として、女性の不安を少しでも解消していただければと、子宮頸がんの予防接種を実施することとし、また、新たにヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種を行うなど、予防接種事業の更なる充実を図ってまいります。

**事業費** 医療費助成事業 6,100千円  
健康づくり事業 21,408千円

## 4. 高齢者福祉事業

高齢者や児童が虐待などで犠牲となる事件が多く聞かれ、重大な社会問題となっております。生活に支援や擁護を必要とする方や家族の把握に心掛け、必要なサービス内容の充実と、各種サービスを円滑に利用できる体制を構築し、村民誰もが安心して生活できる環境の整備を図ってまいります。

**事業費** 高齢者福祉事業費 81,104千円  
障害者福祉事業費 34,460千円  
医療費助成事業 15,862千円

## 5. 水産振興事業

経営健全化を進める新組合にとって、施設を維持し、収益向上を図ることが重要であります。泊村栽培漁業センターの安定した種苗生産を図るため、取水施設の補修工事及び機器購入等の事業に助成を行い、栽培漁業の振興を図ります。

**事業費** 栽培センター補修事業補助金 12,966千円  
栽培センター機器購入事業補助金 2,268千円  
船入間浚渫工事 3,812千円

## 6. 泊中学校周辺環境整備事業

子供達がいじめ等、厳しい教育環境の中で、「伸び伸び」とした教育活動を展開されることは、保護者のもとより村民の念願としております。また教育環境の整備充実は、行政の重要課題との認識から、泊中学校改築等の周辺整備を行っており、今年度は学校給食の充実を図るため、学校給食共同調理所の建設に取りかかり、できるだけ早い完成を目指してまいります。

**事業費** 学校給食共同調理所改築工事 342,004千円  
学校給食共同調理所改築工事監理業務委託料 6,699千円  
厨房及び事務用備品購入費 71,684千円  
給食運搬車購入費 7,770千円

## 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計は、平成二十一年度より後志広域連合が保険者となり運営されております。

歳出は、主に保険給付費等の見込みにより算定されました後志広域連合負担金七千七百二十五万五千円であり、歳入は、保険税と一般会計からの繰入金二千六百七万三千円を計上し、特別会計として本年度予算額は、八千三十一万四千円で前年度対比四・七パーセント減となりました。

## 国民宿舍特別会計

国民宿舍もいわ荘は、昭和三十九年に国民の保養施設として、営業開始以来、四十年余りに渡り、宿泊施設として多くの観光客に又入浴施設として住民の皆様に使われてきました。この間、平成六年に老朽化した施設の全面改築を行い、近代的な施設として生まれ変わったところがありますが、今日の厳しい経済情勢と急速な社会情勢の変化により、宿泊客をはじめ施設利用者の減少も著しく、更には、改築後十数年経過したことによる施設の老朽化も著しく、年毎に修繕費用も嵩み、厳しい経営を余儀なくされており、赤字補填のための一般会計からの繰入が年々増加しているとあります。本年度予算額は、前年度対比九・四パーセント減の一億七千二百一十万円となりました。

歳入においては、宿泊者数を八千人を見込み、利用料を計上したほか、例年同様、維持運営費の一部として電源立地対策交付金二千五百万円を含め、施設改修工事及び維持管理費の一部への充当と併せて、五千三百三十万五千円を一般会計からの繰入金として計上致しました。

歳出においては、経営が厳しい中で、経常経費の節減を図ったところでありますが、営業を継続する上で施設の老朽化に対応した最小限の修繕費と改修工事費を計上致しました。

職員が一丸となり経営者精神に徹して、積極的な営業活動と工夫を凝らした新たな試みを取り入れながら、サービスの向上に努め、施設利用者の増を図り、健全な経営を目指してまいります。

## 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、今後とも水道使用料金を現状維持する中で、経費の節減を図りながら、住民生活の負担軽減を行ってまいります。

今年度は茅沼浄水場の着水量計取替工事と検定有効期間の切れた水道メーター器取替工事費等を計上致しました。また、水道施設を建設した昭和五十九年からの起債償還が平成二十七年まで続くことから、その財源確保のため、今年度も一般会計からの繰入金は三千八百九十万三千円を計上致しました。

本年度予算額は、六千八百十六万三千円で、前年度対比〇・一パーセントの減の予算となりました。

## 老人保健特別会計

老人保健特別会計は、平成十九年度以前の過年度分医療諸費として、五十五万円を見込みました。医療制度改正に伴う整理期間のため、歳入は一般会計からの繰入金五十四万六千円を計上しております。本年度予算額は五十五万七千円となります。

## 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療は、北海道後期高齢者医療広域連合が保険者であることから、広域連合納付金を歳出とし、歳入は、七十五歳以上等の被保険者の保険料と一般会計からの繰入金千百三十六万円を計上し、特別会計として本年度予算額は二千六百九十六万円で、前年度対比十二・四パーセント増の予算となりました。



## 介護保険特別会計

介護保険事業所の指定を受けている特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅支援事業所のうちデイサービスセンター、居宅支援事業所は、平成二十二年度から一般会計に移行しましたので、特別養護老人ホーム単独の会計となります。

今年度において、改築に向けて実施設計費用と入所者の病院への送迎や外出のための福祉車両購入費用を計上致しました。

今後とも、今以上に一人ひとりの尊厳を守りながら、生活を支えるサービスに努めてまいります。

財源については一般会計から九千九百七十七万六千円を繰入し、本年度予算額は、前年度対比四・七パーセント増の二億七千八百二十二万円となりました。

## 公共下水道事業特別会計

泊・茅沼・渋井・堀株地区における下水道普及率は、現在九十三パーセントとなっております。

今年度は、泊地区内ポンプ場汚水ポンプ分解整備工事、浄化センター給気ファン取替等の工事を計上致しました。

財源については、下水道使用料の現状維持の中で、施設維持管理費及び下水道施設建設費の起債償還等のため、今年度も一般会計からの繰入金二億四千三百六十一万四千円を計上いたしました。

本年度予算額は、二億五千五百十五万四千円で、前年度対比四・五パーセント増の予算となりました。



## 集落排水事業特別会計

集落排水事業特別会計は、盃及び興志内地区における下水道普及率は、現在九十三パーセントとなっております。

今年度は、茂岩ポンプ場汚水ポンプ分解整備工事、浄化センター流量調整ポンプ取替等の工事を計上致しました。

財源については、下水道使用料の現状維持の中で、施設維持管理費及び下水道施設建設費の起債償還等のため、今年度も一般会計からの繰入金四千四百四十一万一千円を計上いたしました。

本年度予算額は、六千七百二十二万八千円で、前年度対比三・八パーセント減の予算となりました。

## むすび

以上、平成二十二年度の村政執行に対する私の所信と基本的方針を申し述べました。

地方分権一括法による地方自治体に対する自主・自立を求める国の施策に対し、地域の特性を活かし、地域に根ざした施策をすることが、強く求められているところであります。

泊村の更なる「繁栄と飛躍」を希い、「泊村にいつまでも住んでいたい」と云われる、誇りの持てる「安全で安心」そして、「希望に満ちた活力ある ふるさとづくり」を目指し、総合計画を重視しながら、村づくりを住民の皆様と協働で作り上げていかなければと決意を新たにしているところであります。

村議会議員の皆様

住民の皆様

ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

# 平成二十二年 教育行政執行方針



平成二十二年第一回泊村議会定例会の開会にあたり、泊村教育委員会が本年度に執行しようとする教育行政方針について申し上げます。

教育行政の推進にあたり、村議会の皆様をはじめ、村理事者の深いご理解と、村民の皆様の「ご支援・ご協力」を賜り、懸案の諸問題が逐次解決されております事をまず持つて心から感謝申し上げます。  
アメリカに端を發した世界的な経済不況のあおりを受け、未だ好転の気ざしが見えない中、国内においては政権交代がなされ、私達を取り巻く環境が大きく変わりました。

学校においては、児童生徒一人ひとりがその後の人生を生き抜いていくための「生きる力」の育成をねらいとし、学校・家庭・地域がそれぞれの持つ教育的機能を發揮しながら相互連携・協力し取組んで行くとともに、大きな社会問題となっており、いじめや青少年犯罪への対応が求められていることから、学校教育では、「確かな学力」「豊かな心」「健やかでたくましい心身」の育成を柱に次代を担う子どもたちの成長を図ってまいります。

社会教育においては、地域にあつた住民ニーズを的確に把握し、学習機会の拡充や、環境づくりに取り組んでまいります。

又、学社融合にも力を入れ、生きがいとゆとりを持てる社会づくりに努めてまいります。

今日の課題を的確にとらえながら、活力ある生涯学習社会の実現に向けて、関係機関、村民の皆様の一層のご理解とご協力をいただきながら諸施策を進めてまいります。

## 1 泊村教育目標の推進

教育行政を執行するにあたり、基本となるのは「泊村教育目標」でありますので、その具現化を積極的に進めてまいります。

これは、日々成長する本村の子どもたちに大きな願いと期待をかけたものでありまして、教育委員会はこの教育目標に沿って最善の努力をいたします。

## 2 学校教育の推進

学校教育は、生涯学習の基盤となる「生きる力」の育成であり、基礎・基本の確実な定着とあわせて、実践力の養成が大切であります。

本村の小中学校は、少人数の学級編成で児童生徒一人ひとりに目が届く環境にあり、個々の能力・適正に応じた、きめ細やかな指導の工夫に努め、次代を担う児童生徒の育成を図ってまいります。

今日、学校においては家庭や地域と一体となつて、児童生徒の健全やかな成長を支援し、地域に開か

れた信頼に応える学校づくりが求められております。本村の小中学校においても自らの教育活動を積極的に情報提供をすることともに、説明責任を果たし、保護者や地域住民の期待に応える学校づくりを進めてまいります。

情報化社会にあつて、本村においては光ファイバー網が整備され大変恵まれた環境にある中、経済危機対策事業の一環であります、学校情報通信技術環境整備事業により小中学校におけるパソコンの入替・電子黒板の設置など教育機器の充実に努めてまいりましたので、更なる活用を期待するところであります。

家庭における教育に係る費用負担は増加傾向にあり昨年同様、小学校入学児童祝品、小中学校修学旅行費用や中学校への遠距離通学費の助成を継続して実施してまいります。

地域住民への「学校だより」の配布についても継続して実施してまいります。

## ○教育課程について

学習指導要領に基づき、学校や地域の特性を生かした教育課程の

編成・実施に努めるとともに、基礎・基本の確実な定着を促し、児童生徒自らが学び、考え、判断、応用する指導内容や方法の改善・充実に努め、学ぶ意欲や態度を育む教育活動を推進してまいります。

文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査であります。昨年までは全国一律に実施されておりましたが、新政権のもと、今年から抽出方法に変わりました。全道で四七一校抽出されており、その中に泊小学校も抽出されていることから、中学校においても村独自の実施方針を定め、引き続き実施し、学力の調査を把握し、学習指導の改善に取り組んでまいります。

### ○国際理解教育について

国際化が急激に進展する今日、児童生徒一人ひとりが豊かな人間性を兼ね備え、国際社会をたくましく生きる人材の育成を図ることが大切であります。

外国語指導助手について、今年も中学校を主体に配置し、中学校での語学力やコミュニケーション能力の向上をはじめ、来年度から始まる新学習指導要領実施に向け

ての小学校高学年の英語教育への派遣、更には、社会教育事業への活用を積極的に図り、本村における国際理解教育の推進に努めてまいります。

### ○特別支援教育について

心身に障害のある児童の適正な就学を図るため、障害の程度や能力、適性に応じた適切な指導が図られるよう教職員の共通理解の下、関係機関と連携を深め、可能性を追求した組織的支援体制の充実に努めてまいります。

### ○生徒指導について

生徒指導の意義は、児童生徒個々の人格の発達を目指すことにあります。

児童生徒一人ひとりの人格を尊重し、日頃の教育活動での触れ合いを通して自らを律しつつ他人と協同し、他人を思いやる心や、生命や人格を尊重する心の育成など豊かな人間性を育むとともに、規範意識の醸成に努めてまいります。

また、現状に満足することなく、校内における指導体制をより確かなものにし、問題行動の未然防止、早期発見に努め迅速な対応につい

て関係機関との連携を密にし、一体となつて児童生徒の指導の充実に努めてまいります。

### ○健康安全指導について

社会環境や生活様式の変化は、児童生徒の体力や運動能力の低下をはじめ、生活習慣病の兆候や心の健康の問題等児童生徒の心身の健康に大きな影響を及ぼしております。

児童生徒が心身の保持増進を図るため、家庭における生活習慣「早寝早起き朝ごはん」の励行、学校においては、読書活動の支援等に努めてまいります。

また、児童生徒が犠牲となる痛ましい事件・事故が数多く発生していることから、関係機関の協力を得て、避難訓練や防犯教室を実施するとともに、学校の危機管理体制の日常的な点検・管理の充実に努めてまいります。

### ○教職員の資質・

### 能力の向上について

教職員一人ひとりが児童生徒の健やかな成長を願い、保護者や地域住民から信頼を得るには、専門職としての使命と責任を強く認識

し、更なる意識改革の高揚はもとより、専門性や人間性を高めることが大切であります。そのために、指導方法の創意工夫・改善など、校内研修体制の充実に努めるとともに、各種研修会への積極的な参加を奨励してまいります。

また、個々の学校職員の努力や成果を評価し、一層意欲を高めるために、「学校職員評価制度」についても引き続き取り組み、資質能力の向上及び学校の活性化を図り、その成果が子どもたちに還元されるよう努めてまいります。

### 施設整備事業

- 小中学校庁用備品及び教材備品購入事業
- 小中学校図書購入事業
- 小中学校遊具設置工事
- 小学校グラウンド整備工事
- 小学校物置設置工事



### 3 社会教育について

村民一人ひとりが生きがいとゆとりを持って、健康で心豊かな生活を送るため、生涯学習の果たす役割は、きわめて大きいものがあります。

生活水準の向上、余暇時間の増加、急激に進む少子高齢化社会や高度情報化の進展、地球温暖化対応型社会への移行など目まぐるしく変化する今日、人それぞれの価値観も多様化し、自主自立に向けた意識も変わり、今後ますます高まる学習意欲に対応した生涯学習の推進に努めてまいります。

本村の豊かな自然や古い歴史・文化の特色を生かし、多様化・高度化する住民ニーズを的確に捉え、学習やスポーツ・文化に親しむ機会の拡充・学習環境の整備充実と学習機能の活性化を図ってまいります。

特に、児童生徒が自主的・自発的に生活体験や自然体験更には地域の行事等に参加できる環境づくりを、学校・家庭・地域が一体となって構築してまいります。

#### ○青少年教育について

青少年を取り巻く社会環境がたえず変化する中、心豊かにたくましく創造性に満ちあふれた青少年を育成するために、学校・家庭・地域社会が連携を密にし、支援してまいります。

また、生きる力を身に付け、他人を思いやる心や、命の大切さを学び、これからの社会をたくましく生きていくことが出来るよう、社会体験やスポーツ・文化体験など各種体験活動や奉仕活動への参加を促進し、青少年活動の活性化に努めてまいります。

「親子少年少女カルチャー教室」「ふるさと体験学習」も引き続き実施するとともに、昨年新たに取組んだ「放課後子ども教室」についても創意工夫を重ね、実施してまいります。

小学校六年生を対象とした「子供親善大使派遣事業」についても継続してまいります。

姉妹町である伊方町や周辺での歴史・文化などにふれ、同世代との親善交流を図りながら、「絵付け」や「みかん狩り」など、各種体験活動を通して次代の担い手として、夢と希望を育てたいと願っております。

また、小中学校両校が協力校として認証を受けているユネスコ支援活動についても引続き支援してまいります。

#### ○成人教育について

生きがいを求め、自ら学び、心豊かに暮らすために、自主的自発的に学び、社会参加する意欲の高揚と、魅力ある学習機会の提供や環境づくりに努め、すでに開設されている英会話教室や陶芸教室をはじめ、各種教室・講座・サークル活動についても内容の充実を図り、より多くの方々に支持を得られる楽しい学習の場の設定と、自主的活動の助長を図ってまいります。

また、高齢者の教育については、これからの長寿社会を生き生きと過ごすために、まず健康であることが大切であります。

健康で生きがいある生活を支援するため、社会参加や高齢者の学習ニーズに応えた学習機会を提供し、「寿大学」などの内容の充実を図るとともに、異世代との交流など、多様化・高度化する学習要求に応え、より一層、学習意欲を充足させる機会の拡充に努め、高齢

者が充実した生活を享受できるように、各種活動への参加を奨励してまいります。

#### ○スポーツの普及・振興について

近年、余暇時間の増大や健康増進の向上など一人ひとりが健康で心豊かな日々を営むために、スポーツへの関心も高まり、だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興がもとめられております。生涯にわたって活力ある生活を送ることができるよう、スポーツ活動の機会の拡充に努めてまいります。

また、これらの活動を助長するために、体育協会を中心に体育指導委員や関連団体と連携を深めながら、各種スポーツの普及、振興を図り、大会への参加、派遣についても支援してまいります。

アイスセンター「とまりンク」や「とまりカブトラインパーク」についても、維持管理運営の充実を図り、利用者が快適で安全・安心に利用できるよう努め、施設の有効活用と地域経済の活性化に向け、積極的に各種大会や誘致活動に努めてまいります。

アイスセンタートレーニング室のランニングマシンの購入、更

にはインストラクターについても引き続き配置し、機器の有効活用と利用促進を図っていくとともに昨年、シヨートトラック競技用防護マットを購入いたしましたので、全日本シヨートトラックの合宿も積極的に誘致してまいります。

また、スポーツ少年団活動についても、保護者をはじめ学校や地域の理解のもと、熱心な指導と活発な活動が取組まれ、子どもたちの発育に大きく貢献されているところであり、引き続き支援してまいります。

### 施設整備事業

- アイスセンター清掃業務委託事業
- アイスセンター冷凍機保守点検業務委託事業
- リンク結露防止工事
- リンクスラブ塗装工事
- カプトラインパーク維持管理業務委託事業
- カプトラインパーク建物塗装工事

### ○文化教育のつとめ

長い歴史の中で育まれ、守り伝

えられてきた文化や歴史的遺産を保持伝承し、その活用を図っていくことは、歴史や文化を正しく理解するために、欠くことのできない貴重な歴史的財産であり、これからの地域文化の向上・発展の基礎をなすものであります。

「練御殿とまり」については、往時の歴史的建造物として大変貴重な財産であり、適切な管理運営に努めてまいります。

平成十三年にオープンし今年で十年目を迎えるにあたり、記念事業として、村民の皆様の協力を得て、「昔の泊村」の写真展を開催し、入館者にニシン漁以外の昔の泊村を知ってもらうなど、創意工夫をこらし、入館者の増を図ってまいります。

また、様々なサークル活動・講座など活動の場を設定し、文化活動への関心を高めるとともに、優れた芸術文化を鑑賞する機会や学習機会の提供に努めてまいります。泊村公民館は、生涯教育活動の拠点であり、各種文化活動・学習の場として幅広く利用されております。

今後も、村民各年齢層の学習ニーズの確かな把握に努め公民館活動の更なる充実を図ってまいります。



図書室の運営については、読書は人格形成上大きな役割を果すものであり、情報化・多様化が一段と進む中、村民の要望に対応し、充実した学習活動支援のため、蔵書の整備充実をはじめ、適切な管理運営に努め、誰でも気軽に利用できる親しみやすい図書室づくりを目指します。

### 施設整備事業

- 公民館車庫改修工事
- 公民館大ホール放送設備補修工事
- 図書購入費

緑や花の豊かな美しい街づくりは、村民の願いであり、本年度も役場前国道沿いの花壇づくりを行ってこれているボランティアグループとまりフラワーロードの会をはじめ、関係団体の活動を支援するとともに、地域の皆さんのご

支援ご協力をいただきながら「花いっぱい運動」を展開し、美しい景観づくりに努めてまいります。

### 4 学校給食共同調理所事業

昭和五十五年に設置された学校給食共同調理所は施設の老朽化が大変著しく、改築に向けての実設計等も既に終了しておりますので、本年度、改築に着手いたします。併せて厨房備品等の選定についても取り進めてまいります。

### まとめ

以上、平成二十二年度の教育行政執行方針について申し述べさせて頂きましたが、泊村教育委員会といたしましては、村民の皆様の付託に応えられますよう、本村教育・スポーツ・文化の振興に最善の努力をいたす所存でございますので、皆さんの深いご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

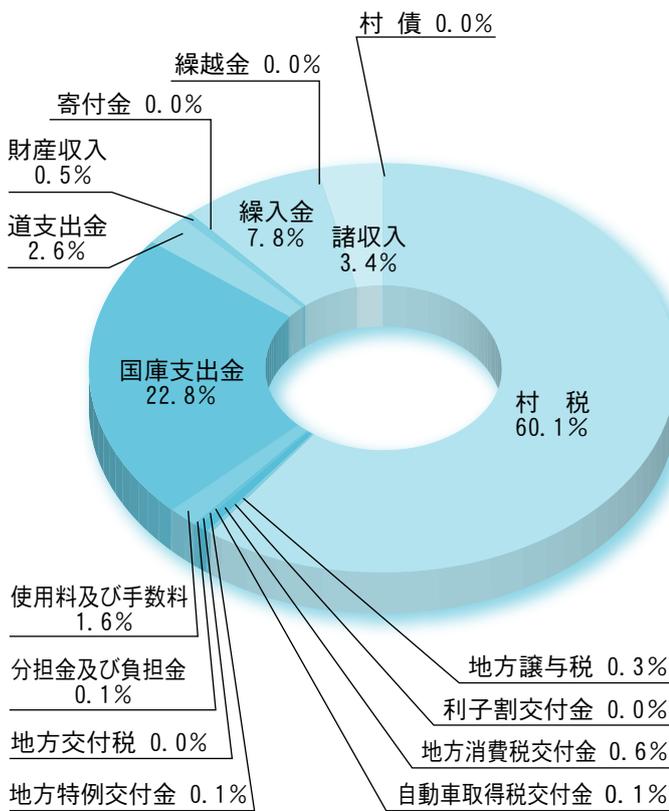


# 円ですたーと づくり」の実現に!!

第1回泊村議会定例会で可決されました平成22年度当初予算を紹介します。

平成22年度の一般会計と特別会計を併せた予算総額は57億9,579万円7千円で前年度当初予算に比べ42.9%増となりました。

## 48億4,800万円



## 歳入

(単位：千円)

項目	予算額	構成比	増減	前年度対比
村税	2,916,990	60.1	1,601,553	121.8
地方譲与税	13,700	0.3	△ 900	△ 6.2
利子割交付金	800	0.0	△ 400	△ 33.3
地方消費税交付金	31,000	0.6	1,000	3.3
自動車取得税交付金	2,900	0.1	△ 1,100	△ 27.5
地方特例交付金	6,300	0.1	△ 400	△ 6.0
地方交付税	1	0.0	△ 14,999	△ 100.0
分担金及び負担金	3,000	0.1	△ 5,006	△ 62.5
使用料及び手数料	75,770	1.6	△ 1,465	△ 1.9
国庫支出金	1,104,964	22.8	466,717	73.1
道支出金	124,515	2.6	42,405	51.6
財産収入	25,347	0.5	7,533	42.3
寄付金	2	0.0	0	0.0
繰入金	376,802	7.8	△ 349,718	△ 48.1
繰越金	1	0.0	0	0.0
諸収入	165,908	3.4	△ 7,220	△ 4.2
村債	0	0.0	0	0.0
歳入合計	4,848,000	100.0	1,738,000	55.9

## 9億4,779万円

(単位：千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	増減	前年度対比
介護保険特別会計	278,220	265,664	12,556	4.7
(サービス事業勘定)	(278,220)	(265,664)	(12,556)	(4.7)
集落排水事業特別会計	67,228	69,883	△ 2,655	△ 3.8
公共下水道事業特別会計	255,154	244,234	10,920	4.5
後期高齢者医療特別会計	26,961	23,982	2,979	12.4

平成22年度

# 予算総額 57億9,579万

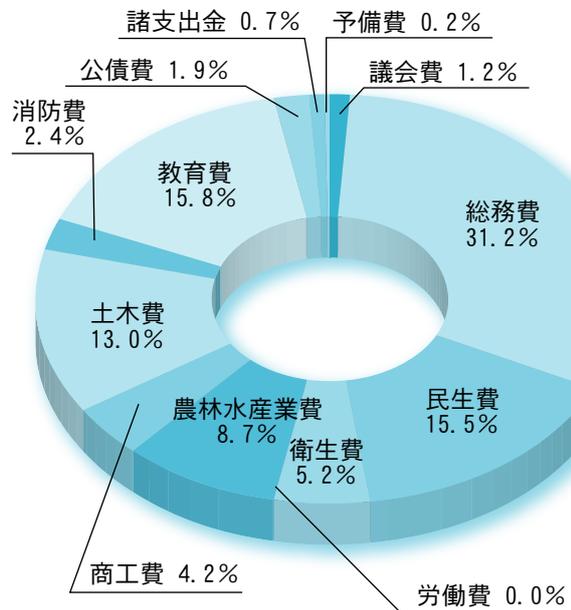
「希望に満ちた活力ある村」

## 一般会計予算

### 歳出

(単位：千円)

項目	予算額	構成比	増減	前年度対比
議会費	60,075	1.2	2,835	5.0
総務費	1,512,012	31.2	849,880	128.4
民生費	750,819	15.5	62,335	9.1
衛生費	253,700	5.2	36,681	16.9
労働費	172	0.0	0	0.0
農林水産業費	420,861	8.7	18,646	4.6
商工費	201,626	4.2	34,392	20.6
土木費	632,258	13.0	274,203	76.6
消防費	115,425	2.4	17,249	17.6
教育費	766,176	15.8	453,509	145.0
公債費	90,803	1.9	△ 28,116	△ 23.6
諸支出金	35,404	0.7	12,000	51.3
予備費	8,669	0.2	4,386	102.4
歳出合計	4,848,000	100.0	1,738,000	55.9



## 特別会計予算

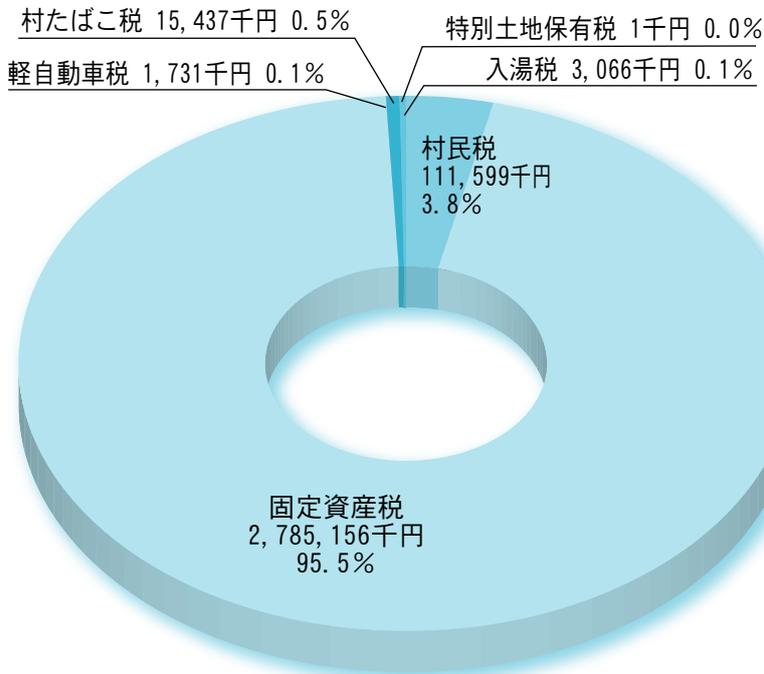
(単位：千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	増減	前年度対比
国民健康保険特別会計	80,314	84,266	△ 3,952	△ 4.7
国民宿舎特別会計	171,200	188,902	△ 17,702	△ 9.4
簡易水道事業特別会計	68,163	68,232	△ 69	△ 0.1
老人保健特別会計	557	1,054	△ 497	△ 47.2

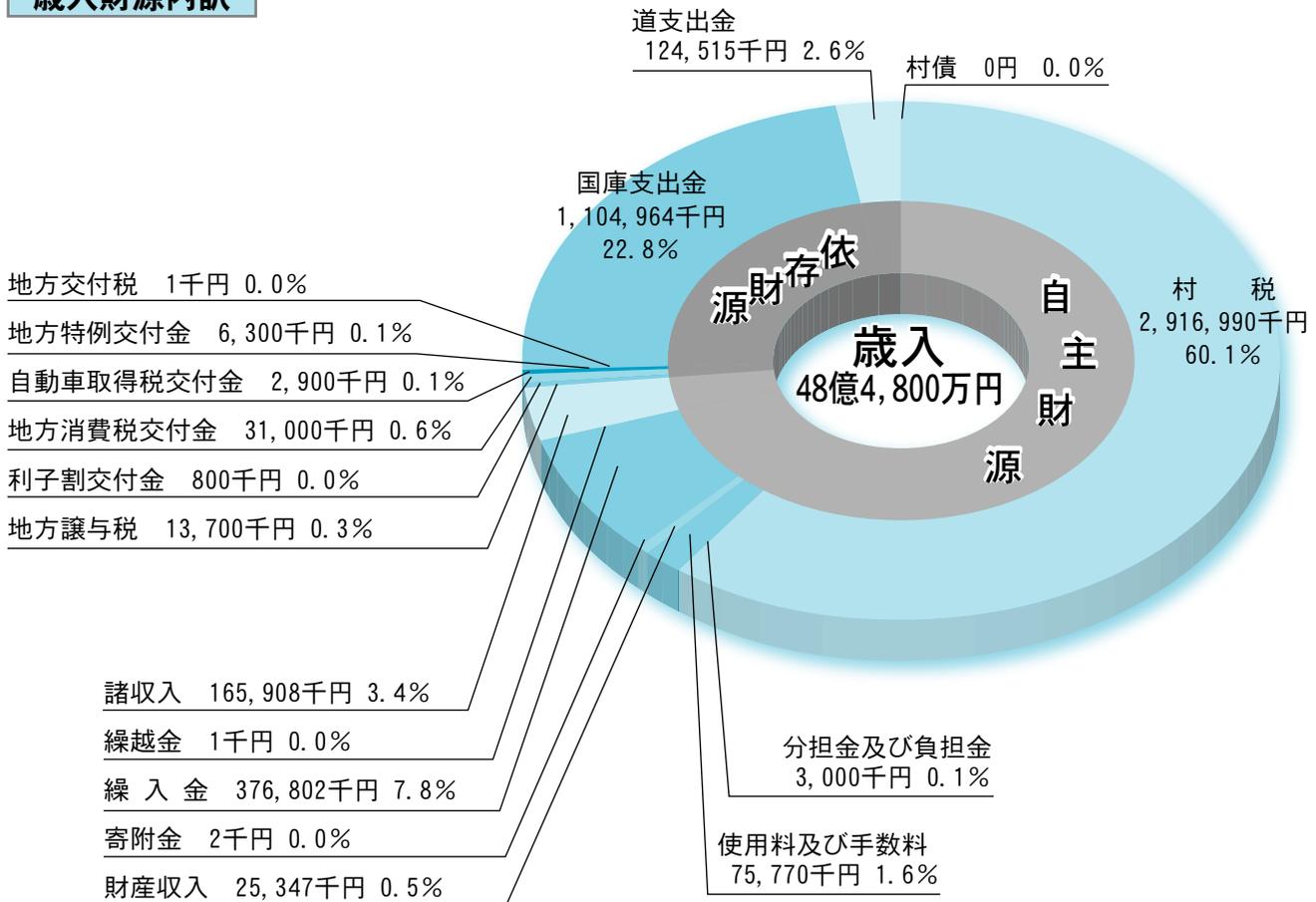
# 予算概要

## 村税予算額内訳

2,916,990千円



## 歳入財源内訳



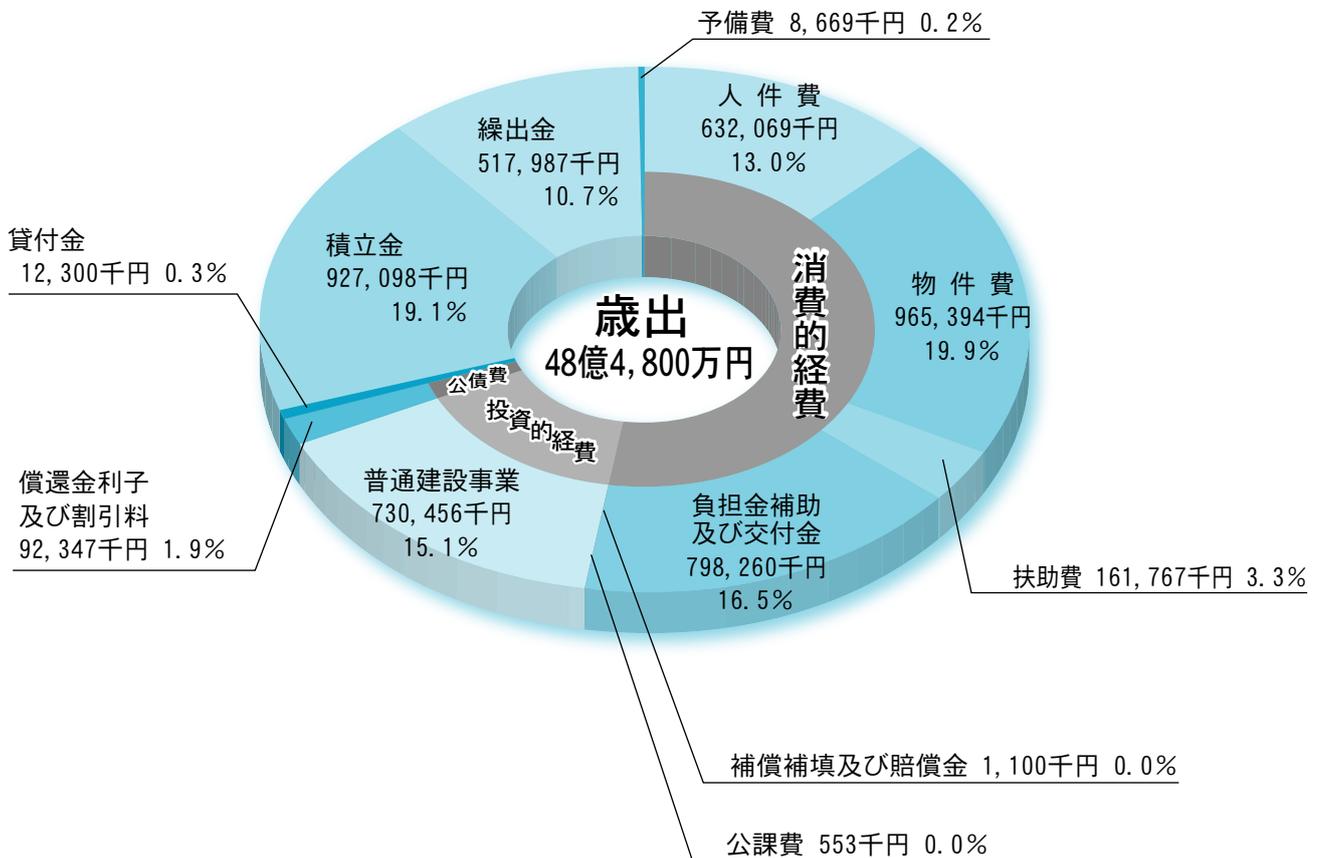
# 一般会計

## 一般会計

当初予算額の推移 単位(百万円)



## 経費別歳出内訳



# 後期高齢者医療制度

## ～ 保険料率が変わります ～

加入者（被保険者）の方にお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を決めることとなっております。

平成22・23年度の新しい保険料率を、お知らせします。



### 均等割

(加入者が等しく  
負担)

平成20・21年度  
(年間)

43,143円

平成22・23年度  
(年間)

44,192円

【1,049円増】

### 所得割

(加入者の所得に  
応じて負担)

平成20・21年度

9.63%

平成22・23年度

10.28%

【0.65ポイント増】

## ●保険料の計算方法（平成22年度）

保険料は、全ての加入者（被保険者）の方にかかります。

保険料額は、加入者（被保険者）が等しく負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

世帯主や加入者（被保険者）の所得に応じて、保険料の軽減があります。

### 均等割

【1人当たりの額】  
**44,192円**

+

### 所得割

【本人の所得に応じた額】  
(平成21年中の所得－33万円) × 10.28%

=

### 1年間の保険料

(100円未満切捨て)  
(限度額50万円)

※この保険料率に基づく平成22年度の保険料額は、6（7）月に「保険料額決定通知書」により個別に通知します。

## ●保険料の軽減について

(1) 均等割の軽減 ～ 所得に応じて、均等割44,192円が以下のとおり軽減となります。

(軽減は、世帯の加入者全員と世帯主の所得の合計で判定します。加入者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。)

所得が次の金額以下の世帯	平成21年度		平成22年度 軽減後 均等割額	比較
	軽減割合	軽減後 均等割額		
33万円かつ加入者全員が年金収入80万円以下で他の所得がない	9割軽減	4,300円	4,400円	100円増
33万円	8.5割軽減	6,300円	6,628円	328円増
33万円+(24万5千円×世帯主以外の加入者数) ●単身世帯の方は該当しません。	5割軽減	21,571円	22,096円	525円増
33万円+(35万円×世帯の加入者数)	2割軽減	34,514円	35,353円	839円増

※保険料の計算は、均等割額と所得割額を合算後に、100円未満を切り捨てます。

(2) 所得割の軽減 ～ 加入者個人の所得で判定します。

前年の所得から33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割が5割軽減となります。

例) 年金収入180万円の場合

\*軽減判定 ⇒ 180万円－120万円(公的年金等控除)－33万円(基礎控除) = 27万円(軽減に該当)

\*所得割 ⇒ 27万円×10.28%×5割 = 13,878円〈年間保険料のうち所得割額分〉

(3) 被用者保険の被扶養者であった方の保険料の軽減

この制度に加入したときに、被用者保険の被扶養者だった方は、所得割はかからず均等割が9割軽減となります。

※被用者保険とは……

全国健康保険協会管掌健康保険や組合管掌健康保険、共済組合など、いわゆるサラリーマンの健康保険のことです。市町村の国民健康保険や国民健康保険組合は、含まれません。

## ■「医療費通知」について

加入者（被保険者）の皆様健康や医療に対する理解を深めていただくとともに、制度の健全な運営を図るために、医療費通知を行っています。

平成21年7月から平成21年12月診療分の医療費通知を、3月末に北海道後期高齢者医療広域連合より送付しています。

医療費通知は、請求書ではなく、医療機関等からの診療報酬明細書に基づき「医療費の総額」を記載しており、記載されている月に病院や薬局などにかかれた一覧です。

医療機関等の請求の遅れ等のため、医療費通知に記載されないことがあります。ご不明な点がございましたら、北海道後期高齢者医療広域連合またはお住まいの市町村の担当窓口へお問い合わせください。

お問い合わせ先	北海道後期高齢者医療広域連合	電話 011-290-5601
	泊村役場 住民福祉課 医療係	電話 0135-75-2132

## 戸籍窓口よりお知らせ

戸籍の窓口で「戸籍謄本（抄本）」や「住民票謄本（抄本）」等を請求される際には、本人確認をおこなっています。

以前にもお知らせしましたが、依然として確認できる書類を何も持たずに窓口へお越しになる方がおります。

本人確認ができない場合は戸籍や住民票を発行できない場合がありますので、必ず下記のように本人確認できる書類をご持参ください。

### 記

① 1通で本人と確認できる書類（写真が貼ってあるもの）

- 運転免許証
- パスポート
- 住民基本台帳カード

② 2通以上で本人と確認できる書類（アの内1通以上とイの内1通以上の複数）

ア、● 国民健康保険、健康保険、船員保険若しくは介護保険の被保険者証

- 共済組合員証
- 年金手帳若しくは年金証書

- 共済年金若しくは恩給の証書
- 印鑑登録証明書

イ、● 学生証- 法人が発行した身分証明書

- 銀行・漁業協同組合・郵便局等の預金通帳若しくはキャッシュカード

- 病院の診察券



問い合わせ先 住民福祉課 住民係 ☎75-2132

## 泊村老人医療費助成事業 受給者証更新のお知らせ

泊村では65歳から69歳までの方を対象に、医療費の自己負担分の一部を補助する事業を実施しています。（所得制限有）



この事業の対象者の方が、現在お持ちの受給者証は有効期限が平成22年3月31日までとなっております。

つきましては、更新に向けた準備を進めておりますので、改めて個別にご案内を差し上げるまで、お待ちいただきますようお願いいたします。

問い合わせ先 住民福祉課 医療係 ☎75-2132

## 福祉バスが新しくなりました

地域住民の交流や研修会等に活躍します。

平成21年度 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」 事業  
事業費 31,342,500円



# 泊 発 電 所 の 状 況

- 泊発電所1号機（定格電気出力57万9千キロワット）  
・第16回定期検査中
- 泊発電所2号機（定格電気出力57万9千キロワット）  
・定格熱出力一定で運転中
- 泊発電所3号機（定格電気出力91万2千キロワット）  
・定格熱出力一定で運転中



## 地上デジタル放送への準備について

平成22年4月1日より地上デジタル放送本格運用が開始されました。

なお、従来のアナログテレビ放送は、平成23年7月24日の地上デジタル放送完全移行までは受信ができますので、計画的にテレビの買い替えやデジタルチューナーの取り付けなど、地上デジタル放送受信対応をお願い致します。

また、すでに対応機器を設置されたご家庭は、保管している説明書をご確認して頂くか、購入店へお問い合わせをお願いします。

ご不明な点は、役場企画振興課情報推進係75-3346までお問い合わせをお願いします。

((( 地デジを見るにはどうするの? )))

### デジタルテレビに替える



#### 地上デジタル放送対応テレビ

- 大きさ 13型～50型程度(50型以上もあります)
- 価 格 約4万円～60万円程度

地上デジタル放送対応のテレビは、画面のサイズや性能、機能など様々です。お近くの電器店・家電量販店などにご相談の上、お宅に合ったテレビをお求めください。

### アナログテレビを使い続ける

デジタルチューナー、または  
デジタルチューナー内蔵録画機器  
を取り付ける



#### デジタルチューナー

- 価 格 約1万円～10万円程度

#### デジタルチューナー内蔵録画機器

- 価 格 約5万円～30万円程度

- ※デジタルチューナーによって機能が異なります。
- ※デジタル機能を制限した廉価タイプもあります。
- ※お使いの受信機によって画質などは異なります。

※参考価格は平成20年1月現在の価格です。

((( 現在の泊村のチャンネル番号は変わりますか? )))

地上デジタル放送ではリモコンチャンネルの設定が以下のようになります。

リモコンチャンネル	放送事業者	現在(アナログ)
1	HBC 北海道放送	2ch
2	NHK-E NHK教育	11ch
3	NHK-G NHK総合	9ch
4	-	-
5	STV 札幌テレビ放送	7ch
6	HTB 北海道テレビ放送	4ch
7	TVH テレビ北海道	5ch
8	UHB 北海道文化放送	6ch
11	TYT 泊村有線テレビ	3ch

総務省 おたすねください地デジのこと ☎:0570-07-0101

地デジコールセンターナビダイヤル 平日 9:00～21:00、  
土・日・祝日9:00～18:00  
※IP電話など、ナビダイヤルがつかない方は  
☎03-4334-1111



お調べくださいデジタル放送のこと

<http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルチューナー  
搭載機器ロゴマーク



## 悪質商法にご注意ください。

テレビの調査会社やアンテナ工事業者を装って、地上デジタル放送を受信するための費用を不正に請求したり、工事の勧誘を行う例が起きています。地上デジタル放送に関する誤った情報や不十分な情報に基づいて関連商品・サービスを売りつける悪質商法にご注意下さい。

ご注意 各ご家庭に設置しておりますBS放送受信機（盃地区は黒い色の機器、その他の地域はシルバー色の機器）は地上波デジタルチューナーではありません。

※P23は平成22年度広報・安全等対策交付金事業により作成しております。

2/23

## 泊村有線放送施設運営委員会・泊村有線放送番組審議会が開催されました

泊村有線放送運営委員会（委員6名）・番組審議会（委員8名）が開催され、各委員に牧野村長が委嘱をおこないました。会では、泊村有線放送の番組内容・地上デジタル放送等を審議し、よりよい番組づくりにつながる活発な意見や提案が交わされました。これからの番組制作、そして放送に生かして参ります。



2/27 ~ 2/28

## 第11回泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会

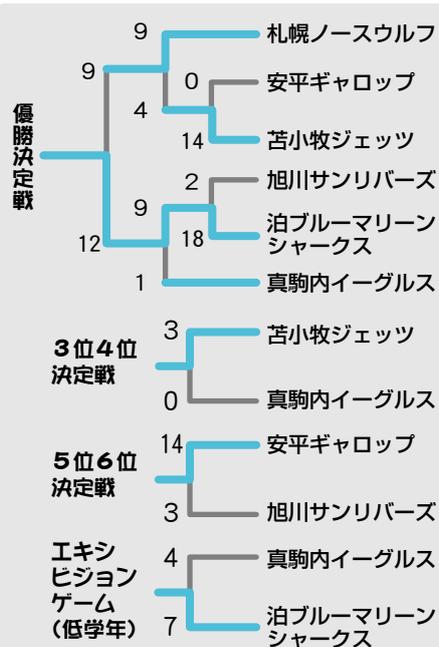
泊村と(財)札幌アイスホッケー連盟の主催による、第11回泊村長杯選抜少年アイスホッケー大会が2月27日(土)・2月28日(日)の2日間、泊村アイスセンター「とまりリンク」で開催されました。

6チームが参加して行われた今大会は、初戦・第2回戦とも力のある攻撃力、守備力で勝利し、続いて進んだ決勝戦でもすべてのシュートチャンスを鮮やかに決めて勝利。見事優勝を果たしました。

泊ブルーマリーンスタークスは第6回大会で初優勝し、第8回・第9回・第10回大会優勝、今大会4連覇する快挙を達成し、合計5回目の優勝となりました。

優勝おめでとうございます!!

- 優勝 泊ブルーマリーンスタークス
- 準優勝 札幌ノースウルフ
- 3位 苫小牧ジェッツ
- 4位 真駒内イーグルス
- 5位 安平ギャロップ
- 6位 旭川サンリバーズ



## とまり保育所ひなまつり

とまり保育所で、ひなまつりが開かれました。遊戯室に飾られたひな人形を前に、おめかしをした女の子たちは髪にピンクのお花をつけて楽しく「桃の節句」を祝いました。先生からひなまつりの由来などについて話を聞いた後、全員でひなまつりの歌を歌ったり、昼食にちらしずしを食べたりして、楽しいひなまつりになりました。



## 第35回泊中学校卒業証書授与式

泊中学校において、第35回卒業証書授与式が厳かに執り行われました。式では、一人ひとり担任の斎藤先生から名前を読み上げられ、佐長校長先生から卒業証書が手渡されました。校長先生は、式辞の中で「自分を大切に、自分らしく生きて欲しい」「人との出会いを大切に、思いやりの心を持ち続けて欲しい」と二つの励ましの言葉を述べられました。来賓祝辞、在校生送辞のあと、卒業生一人ひとり、先生や両親への感謝の言葉、校舎の思い出、後輩への温かいメッセージなど、心を込めた答辞で会場は感動に包まれました。最後に「旅立ちの日に」を合唱。卒業生25名（男子12名、女子13名）がそれぞれの路に向かってはばたいていきました。



### 卒業生名簿

相川隆宏くん	川田琴実さん	上田裕介くん	氏川大生くん	梅庭あか梨さん	越後一樹くん	大金平晏生くん	川子巧くん	久々江花織さん	小林和俊くん	小林俊美くん	小林美久さん	小山山咲さん	酒井雄輝くん	高橋友弥くん	高橋舞香さん	高橋美紗稀さん	長尾唯希さん	西村聖輝くん	能登谷椎那くん	本間李菜さん	妹川理沙さん	宮谷菜月さん	森本菜ゆきさん
--------	--------	--------	--------	---------	--------	---------	-------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

3/3

## 交通安全の推進に対し北海道知事より感謝状をいただきました

日頃の交通安全に関する取り組みが認められ、泊村が北海道知事から表彰されました。今後も交通安全の啓発にご協力をお願いします。



3/14

## 第33回村長杯兼教育長杯争奪泊村将棋大会が開催されました

盃将棋会主催による将棋大会が盃地区集会所で開催されました。大会には村内将棋愛好者10人が参加し腕前を競いました。大会結果は以下のとおりです。

優勝 背戸 昭夫さん 2位 丹羽 隆さん 3位 後藤 純之さん

3/24

## 第14回泊小学校卒業証書授与式

卒業式では、卒業生一人ひとりが中学校生活の目標を発表し、体育館中央の壇上で、出口校長先生から卒業証書が手渡されました。式の最後には卒業生と在校生が向かい合って、思い出や別れの言葉を述べ合う「よびかけ」が行われました。

この日、小学校で卒業を迎えたのは男子7名、女子8名の計15名。皆さん中学校の制服を着て、しっかりした顔つきに見えました。4月からは中学生、部活に勉強に忙しくなりますが、目標達成に向けてがんばってください。

### 卒業生名簿

伊名野	南	さん
井上	拓海	くん
澤口	実季	さん
高橋	沙羽	さん
高橋	美鈴	さん
高橋	雄介	くん
武田	和憲	くん
田中	夕貴	さん
寺井	直之	くん
寺井	優海	さん
檜垣	陵介	くん
保原	滋	くん
妹川	沙耶	さん
増川	友章	くん
山内	こなつ	さん



3/23

## 泊村スポーツ・文化表彰式

泊村スポーツ・文化表彰式が泊村公民館において行われました。

式典では村内の学生や村内の協会等に参加している方々のうち、スポーツや文化の向上と発展を図るためにその育成振興に尽力された方々や、スポーツ活動及び文化活動の各分野において優秀な成績を上げられた個人43人と5団体に対し、スポーツ賞、文化賞等の表彰が村長から贈られました。



3/26

## 平成21年度泊村寿大学修了式

「平成21年度泊村寿大学修了式」が泊村公民館にて挙行され、山本学長（教育長）、牧野村長から一年間の学びの努力に対してのお祝いの挨拶がありました。

その後、黒柳真理さんをお招きして、「人は成熟するにしたがって若くなる」と題した講演が行われました。講演後の懇親会では、この一年の思い出と次年度への新たな学びを確かめながら本年度を締めくくりました。



3/26

## 第40回とまり保育所修了式

お父さんやお母さん、先生や来賓が見守る中、ちょっぴり緊張した様子の子供たち。

名前を呼ばれると、みんな元気な声でお返事して、修了証書を嬉しそうに受け取っていました。小学校に上がる希望を胸に、楽しい思い出がたくさん残る保育所を巣立ちました。



## 出生・死亡・死産・婚姻・離婚の 届出をされる方をお願い

厚生労働省では毎年人口動態調査を実施しています。この調査は皆さんからの出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の各届書をもとに、出生や死亡の状況などを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、人口動態職業・産業調査を実施し、届書に職業の記入もお願いすることとしております。なお、死亡届には、併せて産業の記入もお願いしております。

調査結果は、今後の厚生労働行政の基礎資料として活用いたします。

本年は国勢調査の年であることから、届出をされる方々にはご面倒をおかけしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

### 〈調査期間〉

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間

### 〈調査対象者〉

出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の届出をされる方々

### 〈調査方法〉

各届書の届出をされるときに、それぞれ職業を記入していただきます。例えば、「教師」、「看護師」の方は専門・技術職、「一般事務員」、「パソコン操作員」の方は事務職、「飲食店主」、「ホームヘルパー」の方はサービス職というように書いていただくこととなります。

また、死亡届には、農業、建設業、不動産業といった産業も併せて記入していただきます。

届出をする市区町村役場の窓口で「出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をされる方をお願い（職業・産業例示表）」を備え付けていますので、参考の上、記入をお願いいたします。また、わからない場合は、窓口でおたずねください。

厚生労働省大臣官房統計情報部  
人口動態・保健統計課

## 確定申告書の内容が 間違っていたとき

提出した確定申告書に計算誤りや申告漏れなど申告内容に誤りがあることに気付いた方や、うっかり確定申告書の提出を忘れていた方はありませんか。

もう一度ご確認ください。

税額を多く申告していたことに気付いたときは、「更正の請求書」を提出して正しい税額への訂正を求められます。

税額を少なく申告したことに気付いたときは、「修正申告書」を提出して正しい税額に修正してください。

また、確定申告書を提出しなければならないのに提出を忘れていたときは、速やかに確定申告書を提出してください。

### 問い合わせ

・ 倶知安税務署 個人課税部門  
代表電話番号 0136-22-1192

## くらしの告知板

役場 ☎75~2021

## 受講生を募集します

### 機動職業訓練「情報システム科」

- ・ 訓練期間 平成22年5月6日(木)～7月30日(金)
- ・ 訓練時間 9:00～16:00  
(受講日：月曜日～金曜日※休日は土・日・祝日)
- ・ 受講費用 受講費は無料 ※但しテキスト代は自己負担となります。
- ・ 申込場所 岩内公共職業安定所
- ・ 募集期限 4月20日(火)
- ・ 対象者 求職者(雇用保険受給者または職業安定所長の受講指示が受けられる方)

### 問い合わせ

- ・ 岩内地域人材開発センター  
岩内町字東山8-16 TEL 0135-62-2183

## 全国健康保険協会からのお知らせ

全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部の健康保険料率が、本年3月分(4月納付分)より、9.42%(現行8.26%)に変わります。

大幅な健康保険料率引き上げの背景としては、保険料収入が大幅に落ち込む一方で医療費の支出が増えたこと、都道府県ごとの加入者にかかった医療費の違いが反映されていることなどによります。詳しくは協会けんぽのHPまたは協会けんぽ北海道支部まで。

### 問い合わせ

- ・ 全国健康保険協会北海道支部  
TEL 011-726-0352
- ・ <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

## 「とまり観光絵はがきコンテスト」 の受賞作品の展示のご案内

昨年6月から実施しました第1回「とまり観光絵はがきコンテスト」では、たくさんのすてきな作品の応募がありました。その受賞作品の一部を、下記の村内施設で展示致しますので是非ご覧ください。

※展示施設：練御殿とまり、カブトラインパーク管理棟、国民宿舎もいわ荘、潮香荘、他

※展示作品は定期的に入れ替えますので、お楽しみください。

・ また、平成22年度は、5月1日から第2回「とまり観光絵はがきコンテスト」を実施致します。

詳細は5月の広報誌の折込や泊村のホームページをご覧ください。村民の皆様のご応募をお待ちしています。

### 問い合わせ

- ・ 泊村役場経済部産業課 TEL 0135-75-2101

# 不燃(粗大含む) ごみ受入 停止日



■受入停止日 4月26日(月)■

問い合わせ先  
岩内地方衛生組合じん芥処理場 TEL 62-6251

## 4月の相談日程

札幌弁護士会しりべし弁護士相談センター

4月 7日(水) 14日(水) 21日(水) 28日(水)

- ・事前予約制
- ・予約受付 平日午前10時～午後4時
- ・岩内町高台84-3 ・ ☎ 0135-62-8373

## ゴールデン ウィークの休日当番歯科医院

診療時間  
9時～12時まで

5月3日(月) 鳥牧診療所歯科 ☎0136-75-6105  
憲法記念日

4日(火) 水野歯科医院 ☎62-1064  
みどりの日

5日(水) 吉田歯科医院 ☎62-0849  
こどもの日

## 4月及び ゴールデンウィークの 救急当番医

診療時間  
9時～17時まで



11日(日) 大井内科消化器科医院 ☎62-0986

18日(日) 万代クリニック ☎61-2133

25日(日) 岩内協会病院 ☎62-1021

29日(木) 発足診療所 ☎74-3009  
昭和の日

5月2日(日) 千葉外科医院 ☎62-0981

3日(月) 前田医院 ☎62-1293  
憲法記念日

4日(火) 岩内大浜医院 ☎61-2081  
みどりの日

5日(水) 東山クリニック ☎62-7700  
こどもの日

## 平成22年度 第1回警察官採用試験の実施

- 1 受験申込書配布期間 3月3日(水)～4月15日(木)
- 2 受験申込書受付期間 4月1日(木)～4月15日(木)
- 3 第1次試験 5月9日(日)
- 4 実施する試験区分及び採用予定人員
  - ・男性A区分  
北海道(125名)、警視庁(12名)、神奈川県(12名)、埼玉県(6名)、千葉県(6名)、静岡県(3名)が共同で実施
  - ・女性A区分 北海道のみ(20名)
  - ・男性B区分 北海道のみ(50名)
- 5 受験資格

受験区分	学 歴	年 齢
A区分	学校教育法による大学(短期大学を除く。)等を卒業した者(平成23年3月卒業見込者を含む。)	昭和53年4月2日から平成5年4月1日まで に生まれた者
B区分	A区分以外の者(学校教育法による高等学校に在学中の者を除く。)	

- (注1) 高度専門士の称号を取得又は平成23年3月末日までに取得見込みの者は、A区分での受験となります。  
(注2) A区分に該当する者は、B区分の試験を受けることはできません。  
(注3) 平成23年4月以降の採用となりますが、場合によっては平成22年10月に採用されることもあります。

### お問い合わせ先

★詳しくは、最寄りの交番・駐在所または岩内警察署等までご連絡下さい。  
岩内警察署 TEL 0135-62-0110  
採用センター TEL 0120-860-314  
道警ホームページ  
<http://www.police.pref.hokkaido.jp/>

## 一般曹候補生・幹部候補生 採用試験受付中

募集種目	受験資格	受付期間	試験日
第1回 一般曹候補生	18歳以上 27歳未満 の者	4月1日(木)～ 5月10日(月) 締切日必着	5月22日(土)
幹部候補生 (一般・技能)	22歳以上 27歳未満 の者		5月15日(土)

※第2回一般曹候補生の受付は8月1日(日)～9月10日(金)となっています。



### お問い合わせ先

- ・倶知安地域事務所  
倶知安町南3条東1丁目 TEL 0136-23-3540
- ・自衛官募集相談員 安藤 徳久 TEL 75-2300

# 戸籍の窓

2月20日～3月19日

こんにちははよろしく

【出生】

(白 別) 古山田光陽みはるくん  
2月18日出生 父 正則さん

父 正則さん

いつまでもお幸せに

【婚姻】

(滝の潤) 藤木 慎さん 滝の潤  
加藤 麻子さん 滝の潤

じゅめいふくをお祈りします

【死亡】

(泊) 寺井 則子さん 72才  
3月7日死亡

よろしくおねがいします

【転入】

(茅 沼) 小塚 輝彦さん 札幌市  
(滝の潤) 加藤 麻子さん 岩内町

【転出】

札幌市 7人 石狩市 4人  
留萌市 1人 神恵内村 1人



## 人のうごき

世帯	986戸	前月比 + 4戸
人口	1,990人	+ 2人
男	923人	+ 2人
女	1,067人	+ 0人

### 地区別の世帯と人口

	世帯	人口
泊地区	320戸 - 1	699人 ± 0
盃地区	187戸 + 1	381人 + 1
茅沼地区	190戸 ± 0	398人 - 3
老人ホーム	105戸 + 1	105人 + 1
渋井地区	103戸 + 2	233人 + 2
堀株地区	81戸 + 1	174人 + 1
計	986戸 + 4	1,990人 + 2

[22.2.28 現在 住民基本台帳]

## とまり木文芸

俳句・川柳

春告げる 小さな緑 コシヤクかな 泊海山

え総理 世襲駄目よと 自己世襲 泊海山

短歌 (365)

近江谷乃婦

キビンイと小鳥の声の聞えくるどんよりとして膝の疼く日

吉田智恵子

ひな祭生れし吾子は仏の子指おり数え思ひめぐらす

赤坂明茅子

久かたに雪の声きく喜びか悲しき声かキユツキユツとさげび

小林ヒロ子

この冬の除雪はいたく身を責めて心もとなく足運びゆく

立花 孝子

合格を車窓より問いかける祖母に笑顔と円のサインあり

小林 諒子

良き友の誘いを受けて我は今古代エジプト美術展見字す

乃 婦

老いてなほ故里恋ふる雨の夜は車の行き来を朝騒に聞く

沙 羅

寒空に満月ありて満天の星の輝き明日は晴れかな

明希子

図書券のたまりて本を見てみよう手ぶらで出ると雪のはらはら

芳 扇

降ればとけ消えては三月までも降る春まつ心幼児になる

無名女

まらかねて顔だしたる若き芽をかくすがごときなこり雪かな

さと女

沖繩の地にて謹しみ思ひけり戦後六十五年の平和を

## 交通安全

デイ・ライト (昼間点灯) 運動実施中!

交通安全 運動実施中!

再生紙を使用しています